

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （ 1-2組：松岡） （ 3-4組：松岡） （ 5-6組：松岡） （ 7-8組：松岡）

使用教科書：（ 『高校生の美術 1』日本文教出版 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 画材の基本的な使用法に習熟する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 視覚を中心とした感性を動員し、美を表現し味わう体験を重ねる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 美と接することを愛好し生活の中で美しさを追求する姿勢を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
アクリル・ガッシュ、マスキングテープ、画用紙・ケント紙・洋紙・キャンバス等の支持体、スタイロフォーム、油彩絵具等の用具使用を体験し、それぞれの特徴を把握し使用法に習熟する。また古今東西の名作について興味の幅を拡大し、鑑賞に必要な基礎知識を習得する。	芸術的思考力といえる自己の視覚を中心とした五感を動員し、様々な素材を使った鑑賞・表現を通して美を追求する。	自身の得意・不得意を越えて美と接することを愛好し生活の中で美しさを追求する姿勢を培う。自身と他者の作品、古今の名作等の鑑賞に対し主体的・積極的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 【知識及び技能】 ・年間の授業の受け方やリズムや美術教室や用具の基本的な種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校までで習得した描写力を発揮する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的にオリエンテーションに参加し履修する仲間と前向きな受講をする態度を養う。	・自己紹介 ・鉛筆による自分の手のデッサン	【知識及び技能】 ・指示通りの移動や用具の準備を行える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の手を「見えた通り」描くために先入観なくモチーフの手を見つめ、中学校までに学んだ描画力を全て発揮できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己紹介を通じて、主体的に仲間や用具と関わることができる。	○	○	○	4
	平面色彩構成 【知識及び技能】 ・マスキングテープやアクリル・ガッシュ等用具の基本的使用法を学ぶ。 ・単元の目的を理解し、ケント紙に正しく設定寸法の画面を描出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら設定したテーマにふさわしい画面分割と色彩配置について色鉛筆や配色カードを駆使して試行から決定、完成へのプロセスをなぞる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多くアイデアスケッチを作成し本番の完成度を高める。	・八つ切りケント紙への「自然物をモチーフとした平面色彩構成」	【知識及び技能】 ・正しく設定を理解しその設定に沿って、自ら適切なモチーフの自然物を選択しイメージに合わせたテーマ設定ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学んだ色彩の要素を駆使しながら魅力的な色彩配置の構成を描出できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネット等を使用して積極的に自然物の形態を調べモチーフ化できる。 ・自己や他者の作品に関心を持ちよいところを取り入れることができる。	○	○	○	14
	共同制作 【知識及び技能】 ・洋紙の目の性質や、水分と支持体（模造紙およびベニヤ板）の関係ならびに湾曲について理解し、並置混色の原理を知る。 ・題材の美術史的意義を学。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各担当箇所 to 原画通りの色が表現できるように貼る紙を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・完成までの工程を把握し、それぞれの工程を完遂させるよう仲間と助け合い主体性協調性を持って臨む。	・巨大貼り絵	【知識及び技能】 ・貼り絵制作の原則を把握し、全体の中の一部の制作であることを正しく理解している。 ・モチーフの美術史的意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・並置混色の原理を実際の制作に生かし、自らの担当課所の再現に全力を傾注できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・完成への工程を正確に理解し積極的な制作をとして達成感・成就感を味わえている。	○	○	○	8
				○	○	○	4

2 学 期	美術史研究 【知識及び技能】 ・共同制作のモチーフを足がかりに19世紀西洋美術について調べ新しい知識とする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らが美しいと思う19世紀西洋美術の作品を決めて調べる際に、その美しさについて自分の言葉で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間と共に主体的に題材選定やプレゼンテーションを行う。	インターネット等による調べ学習と発表（班別）	【知識及び技能】 ・教科書や図書館、端末等、調査の方法を十分に駆使できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマとした作品について自分の言葉で発表・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・最後まで協調性をもって学習に臨めている。	○	○	○	2
	スタイロフォームの彫塑 【知識及び技能】 ・スタイロフォームの性質と発泡スチロールカッターの使用法に習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの「めざしの煮干し」を十分に観察し、実感をカーヴィングで立体表現し着色まで施す。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モチーフへの観察を最後まで怠らず制作に臨む。他者の作品の鑑賞を通し、彫塑作品の醍醐味を味わう。	「めざしの煮干し」をモチーフとした立体表現（スタイロフォームのカーヴィングと着色）	【知識及び技能】 ・怪我のないように用具を使用するための注意をよく理解し実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの持つ3次元の存在感を凝視し、彫塑表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者の作品の鑑賞から良いところを味わえている。	○	○	○	12
	人体クロッキーとモデル体験 【知識及び技能】 ・4分間クロッキーの効用について知り、ポーズやモデルとの距離についての基本的知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一気呵成に画面いっぱいに人体の調和を表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モデル輪番をスムーズに行い、モデルへの感謝を忘れず制作時間を有効に使う。	グループ分けを行い、4分間の人体クロッキーを制作、輪番でモデルも体験し制作した作品の中で最良の仕上がり作品を自ら選考する。	【知識及び技能】 ・怪我のないように用具を使用するための注意をよく理解し実践できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの持つ3次元の存在感を凝視し、彫塑表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者の作品の鑑賞から良いところを味わえている。	○	○	○	10
3 学 期	人体クロッキー 【知識及び技能】 ・クロッキーの内容と意味を理解し、必要な環境・条件・描写力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・緊張感をもって無駄なく必要な線描で人体表現を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的にモデルを体験するとともに仲間のモデル体験への尊敬の態度を養う。	交替でのモデル経験と人体クロッキー	【知識及び技能】 ・10分・7分・4分と条件の変化がもたらすクロッキーの描写力を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・緊張感のある人体表現が絵画のエッセンスであることを表現・鑑賞共に十分に味わえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的にモデルを体験し、ポーズのあり方についても前向きに協調性をもって取り組めている。	○	○	○	2
	静物画 【知識及び技能】 ・アクリルガッシュによる描画について正しい用具の使用法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・静物モチーフを十分に見つめ、ヴァルールやトーンを工夫して室内写生することを学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・完成まであきらめずに取り組む。用具の片付け作業を次回への備えとし他者への配慮も学ぶ。	F6号のキャンバスボードを使い室内モチーフ（静物）をアクリルガッシュで写生	【知識及び技能】 ・筆・キャンバスボード等、特有の用具と地塗りの効果等について正しく把握している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ガッシュ絵具の持つ質量を活用し重量感と存在感のある静物写生を実践している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者作品をよく参考にし、描き始めから完成まで常に良いものを取り入れる姿勢を養う。	○	○	○	14
	合計						70